

判

(ア) 本件訂正審決による訂正前の特許請求の範囲

「【請求項 1】生体の下肢における第 1 血圧値を決定する第 1 血圧値決定手段と、該生体の上肢における第 2 血圧値を決定する第 2 血圧値決定手段と、該第 1 血圧値決定手段により決定された第 1 血圧値および該第 2 血圧値決定手段により決定された第 2 血圧値とに基づいて下肢上肢血圧指数を算出する下肢上肢血圧指数算出手段と、該下肢上肢血圧指数を表示する表示器とを備えた下肢上肢血圧指数測定装置であって、

前記生体の所定の 2 部位間を脈波が伝播する脈波伝播速度に関連する脈波伝播速度関連情報を決定する脈波伝播速度関連情報決定手段と、

該脈波伝播速度関連情報決定手段により決定された脈波伝播速度関連情報を前記下肢上肢血圧指数算出手段により算出された下肢上肢血圧指数と同時に前記表示器に表示する同時表示手段とを、含むことを特徴とする下肢上肢血圧指数測定装置」

「【請求項 2】前記下肢上肢血圧指数が測定される前記生体を識別する識別手段と、

該識別手段により識別された生体毎に、前記下肢上肢血圧指数および前記脈波伝播速度関連情報を記憶する記憶装置と、

前記下肢上肢血圧指数算出手段により算出された今回の下肢上肢血圧指数および前記脈波伝播速度関連情報決定手段により決定された今回の脈波伝播速度関連情報と、前記記憶装置に記憶されている該生体の過去の下肢上肢血圧指数および脈波伝播速度関連情報とを対比可能に表示する経時変化表示手段とを、さらに含むものである請求項 1 記載の下肢上肢血圧指数測定装置」

(イ) 本件訂正審決による訂正後の特許請求の範囲（下線を付した部分が訂正に係る部分である。）。

「【請求項 1】生体の下肢において足首カフを用いて足首の血圧値を決定する第 1 血圧値決定手段と、該生体の上肢において上腕カフを用いて上腕の血圧値を決定する第 2 血圧値決定手段と、該第 1 血圧値決定手段により決定された第 1 血圧値および該第 2 血圧値決定手段により決定された第 2 血圧値とに基づいて下肢上肢血圧指数を算出する下肢上肢血圧指数算出手段と、該下肢上肢血圧指数を表示する表示器とを備えた下肢上肢血圧指数測定装置であって、

前記生体の所定の 2 部位間を脈波が伝播する脈波伝播速度に関連する脈波伝播速度関連情報を決定する脈波伝播速度関連情報決定手段において、前記 2 部位のうちの 1 部位の脈波を検出する第 1 脈波検出装置と、前記 2 部位のうちのもう一方の部位の脈波を検出する第 2 脈波検出装置とを有し、前記第 2 脈波検出装置が右足首に巻回されるカフおよびそれに接続された圧力センサまたは左足首に巻回されるカフ及びそれに接続された圧力センサによって脈波を検出する装置である、脈波伝播速度関連情報決定手段と、該脈波伝播速度関連情報決定手段により決定された脈波伝播速度関連情報を前記下肢上肢血圧指数算出手段により算出された下肢上肢血圧指数と同時に前記表示器に表示する同時表示手段とを、含むことを特徴とする下肢上肢血圧指数測定装置」

「【請求項 2】前記下肢上肢血圧指数が測定される前記生体を識別する識別手段と、

該識別手段により識別された生体毎に、前記下肢上肢血圧指数および前記脈波伝播速度関連情報を記憶する記憶装置と、

前記下肢上肢血圧指数算出手段により算出された今回の下肢上肢血圧指数および前記脈波伝播速度関連情報決定手段により決定された今回の脈波伝播速度関連情報と、前記記憶装置に記憶されている該生体の過去の下肢上肢血圧指数および脈波伝播速度関連情報とを対比可能に表示する経時変化表示手段とを、さらに含むものである請求項 1 記載の下肢上肢血圧指数測定装置」

3 当裁判所の判断

前記当事者間に争いのない事実の下では、本件特許を、請求項 1 及び 2 のいずれについても、それらに係る発明が特許法 29 条 2 項に該当することを理由に取り消した本件決定の取消しを求める訴訟の係属中に、いずれの請求項についても、特許請求の範囲を減縮することを目的とする訂正の審判の請求がなされ、特許庁は、同請求を認めるとの本件訂正審決をし、これが確定した、ということができる。本件決定は、これにより、結果として、いずれの請求項についても、判断の対象となるべき発明の認定を誤ったことになる。いずれの請求項についても、この誤りが本件決定の結論に影響を及ぼすことは明らかである。したがって、本件決定は、取消しを免れない。

4 以上によれば、本訴請求は理由がある。そこで、これを認容し、訴訟費用の負担については、原告に負担させるのを相当と認め、行政事件訴訟法7条、民事訴訟法62条を適用して、主文のとおり判決する。

東京高等裁判所第6民事部

裁判長裁判官	山	下	和	明
裁判官	阿	部	正	幸
裁判官	高	瀬	順	久